顛　末　書

令和　　　年　　月　　日

名護市長　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住　　　所

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　届出人氏名　　　　　　　　　　印

　私は、地域森林計画となっている民有林の立木の伐採にあたって森林法（昭和26年法律第249号）第10条の8第1項に規定する「伐採及び伐採後の造林の届出」をすることなく伐採を行いました。

　つきましては、下記のとおりその顛末を報告するとともに、今後、立木の伐採にあたっては関係法令を遵守し、適切な手続きを行います。

記

１　無届伐採を行った森林の所在場所及び森林所有者

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 森林の所在場所 | 市町村 | 大　字 | 字 | 地　番 |
|  |  |  |  |
| 森林所有者の住所・氏名 | 住所　氏名　 |

２　無届伐採の内容

|  |  |
| --- | --- |
| 無届で伐採を行った期間 | 　令和　　年　　月　　日～令和　　年　　月　　日 |
| 伐採面積（ha） | 　　　　　　　　　ha　 |
| 伐採樹種および林齢 | 樹種（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）林齢（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 本来届出すべき期日 | 　令和　　年　　月　　日　まで |

３　造林の方法別の内容

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 造林期間 | 造林樹種 | 樹種別の造林面積 | 樹種別の植栽本数 |
| 人工造林（植栽・人工播種） |  |  | ha | 本 |
| 天然更新（ぼう芽更新・天然下種更新） |  |  | ha |  |
|  | ５年後において的確な更新がなされない場合 |  |  | ha | 本 |

４　伐採後において森林以外の用途に供されることとなった場合(転用の場合)のその用途

|  |
| --- |
|  |

５　無届伐採を行った経緯及び理由

|  |
| --- |
|  |

６　再発防止に向けた対応

|  |
| --- |
|  |

注意事項

１　「１　無届伐採を行った森林の所在場所及び森林所有者」については、森林の所在していた場所ごとに記載すること。

２　「２　無届伐採の内容」における「伐採面積」の欄については、小数第２位までとし、第３位を四捨五入すること。

３　「３　造林の方法別の内容」における「造林樹種」、「樹種別の造林面積」及び「樹種別の植栽本数」の欄には、複数の樹種を造林した場合には、造林する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。

４　「３　造林の方法別の内容」について、伐採後、転用を行った(または行う)場合は、「人工造林」及び「天然更新」の欄は記載する必要はない。ただし、当該顛末書を提出した時点で、まだ転用の用途に供されていない場合は、「５年後において的確な更新がなされない場合」の欄に、造林計画(造林の期間、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の植栽本数)を記載すること。このとき、伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して５年を経過した日から２年以内に森林に復旧する旨の造林計画を記載すること。(伐採終了後、伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して５年を経過しても転用の用途に供されていない場合は、当該造林計画に従って、造林する必要があります。)

５　「４　伐採後において森林以外の用途に供されることとなった場合(転用の場合)のその用途」について、伐採後、造林を行った(又は行う)場合は、記載する必要はない。